

問1 ポーツマス条約の内容に不満をもった国民が、東京で起こした暴動を何という？

1. 秩父事件 2. 日比谷焼き打ち事件 3. 大逆事件 4. 米騒動

問2 西南戦争の戦費調達のために政府が大量発行し、激しいインフレーションを引き起こす原因となったものは何か？

1. 紙幣 2. 硬貨 3. 手形 4. 国債

問3 黒田清輝が留学先として学び、印象派の技法を取り入れるきっかけとなった国はどこ？

1. イタリア 2. イギリス 3. フランス 4. ドイツ

問4 1889年に公布された、ドイツのプロイセン憲法を参考に日本で初めて制定された近代的な憲法を何という？

1. 大日本帝国憲法 2. 明治憲法 3. 欽定憲法 4. 日本国憲法

問5 明治政府が近代産業育成のために群馬県に設立した、最初の官営模範工場を何という？

1. 岩崎弥太郎 2. 富岡製糸場 3. 官営八幡製鉄所 4. 三井銀行

問6 不平等条約により、外国人が日本で犯罪を犯しても、その国の領事によって裁判が行われる権利を何という？

1. 治外法権 2. 片務的条約 3. 関税自主権 4. 領事裁判権

問7 日本の紡績業において、海外から輸入して加工の原料とした農産物を何という？

1. 綿花 2. 羊毛 3. 生糸 4. 石炭

問8 大日本帝国憲法において、統治権の主体であり、主権者とされた存在は誰（何か）？

1. 枢密顧問官 2. 天皇 3. 摂政 4. 内閣総理大臣

問9 1910年の韓国併合によって日本が完全に支配下に置き、その後、統治のために朝鮮総督府が置かれた国を何という？

1. 満洲国 2. 清 3. 大韓帝国 4. 中華民国

問10 明治政府が地租改正において、土地の所有者に発行し、納税の証明としたものを何という？

1. 戸籍 2. 条約 3. 証書 4. 地券

問11 日露戦争の講和条約の内容に不満を持った国民が、東京で大規模な焼き打ち事件を起こしたのは西暦何年？

1. 1910年 2. 1904年 3. 1895年 4. 1905年

問12 中国で清朝が滅亡するきっかけとなった辛亥革命が始まった年は？

1. 1904 2. 1911 3. 1895 4. 1894

問13 外務大臣の陸奥宗光がイギリスとの間で日英通商航海条約を締結し、領事裁判権の撤廃を実現したのは何年？

1. 1894年 2. 1911年 3. 1858年 4. 1854年

問14 鉄鋼業や機械工業などの産業を育成し、国の経済力と軍事力を強化するために明治政府が掲げた目標を何という？

1. 大政奉還 2. 富国強兵 3. 文明開化 4. 殖産興業

問15 明治政府が欧米諸国の産業を取り入れ、国力を高めるために進めた政策を何という？

1. 殖産興業 2. 廃藩置県 3. 富国強兵 4. 文明開化

問16 下関条約後の遼東半島返還を強く求めた国々の組み合わせを何という？

1. 日・米・英 2. 独・伊・日 3. 英・仏・露 4. ロシア・ドイツ・フランス

答え合わせ・解説

問1	答え 2 日比谷焼き打ち事件	講和会議の結果、賠償金が全く得られないことが明らかになると、国民の怒りは頂点に達しました。1905年、東京の日比谷公園で行われた反対集会が暴動化し、警察署や交番が焼き打ちされる日比谷焼き打ち事件が発生しました。東京に戒厳令が敷かれるほどの大騒動となりました。
問2	答え 1 紙幣	政府は戦費を調達するため、担保のない紙幣を大量に発行しました。市場に流通する貨幣が急激に増えた結果、貨幣の価値が下がり、物価が異常に高騰する猛烈なインフレーションが発生しました。この経済的混乱は国民の生活を苦しめました。
問3	答え 3 フランス	黒田清輝はフランスへ留学し、西洋絵画の基礎や、光の捉え方を重視する「印象派」の技法を学びました。帰国後、その明るい画風は当時の日本の画壇に強い影響を与えました。
問4	答え 1 大日本帝国憲法	伊藤博文らが中心となり、ドイツの憲法を参考にして作成されました。天皇を「神聖にして侵すべからず」とする天皇主権の憲法であり、国民の権利は法律の範囲内で認められる形でした。統帥権や緊急勅令などの特別な権限も定められていました。
問5	答え 2 富岡製糸場	1872年に群馬県に建設されたこの工場には、フランスから技術者が招かれ、西洋式の機械製糸が導入されました。全国から工女が集められ、当時の先端技術が地方へ伝播する拠点となりました。
問6	答え 4 領事裁判権	この制度により、日本国内で外国人が罪を犯しても、日本の裁判所では裁くことができず、その国の領事が自国の法律に基づいて裁判を行うことになっていました。そのため、外国人が日本人に対して加害を行っても、非常に軽い罰で済まされることが多く、国民の不満を大きく高める要因となりました。
問7	答え 1 綿花	日本の紡績工場では、インドやアメリカなどから安価で品質の良い綿花を大量に輸入しました。その原料を使って高性能な機械で綿糸を製造し、それを中国などのアジア諸国へ輸出する貿易体制を確立しました。このプロセスは、日本が輸入加工型の工業国へと転換したことを意味します。
問8	答え 2 天皇	大日本帝国憲法では、天皇を統治権の総攬者と位置づけました。天皇は軍の指揮権を持つ統帥権や、国会を開いたり解散したりする権限など、非常に強い力を持っていました。国民は「臣民」と呼ばれ、あくまで天皇の統治の下で制限付きの権利を認められる存在でした。
問9	答え 3 大韓帝国	しかし、その後の日露戦争で日本が勝利すると、韓国併合への動きが加速しました。1910年、日本は日韓併合条約を強制的に締結し、大韓帝国を廃止しました。統治の拠点として設置されたのが朝鮮総督府です。
問10	答え 4 地券	1873年の地租改正により、土地の所有者に対して「地券」が発行されました。この地券によって地価が定められ、土地の所有者はその地価の3%を現金で地租として納める義務を負いました。これは従来の収穫量に応じた現物納を廃止する画期的な仕組みでした。
問11	答え 4 1905年	1905年、ポーツマス条約の締結に反対し、賠償金の要求を掲げた人々が東京の日比谷公園で集会を開きました。これが暴徒化し、警察署や新聞社などが襲撃される「日比谷焼き打ち事件」が発生しました。
問12	答え 2 1911	この年、武昌での武装蜂起をきっかけに辛亥革命が全国的な広がりを見せました。各地で独立を宣言する動きが相次ぎ、数百年続いた清の統治体制は完全に崩壊することになりました。
問13	答え 1 1894年	1894年、外務大臣の陸奥宗光は、イギリスとの間で日英通商航海条約を締結しました。これにより、日本が長年苦しんできた領事裁判権の撤廃が達成されました。当時の欧米列強は日本の近代化を認めざるを得ない状況にありました。
問14	答え 2 富国強兵	富国強兵は、殖産興業と並んで明治政府の最重要スローガンでした。徴兵令による軍備の近代化と、官営工場による重工業の育成が両輪となって進められました。
問15	答え 1 殖産興業	明治政府は、官営模範工場を設立して機械による工業化をすすめ、鉱山や鉄道などの近代化を図りました。また、民間の企業を支援し、産業の育成に力を入れました。
問16	答え 4 ロシア・ドイツ・フランス	特にロシアは南下政策を進めており、日本がこの地を支配することを最も恐れていました。フランスはロシアとの同盟関係から、ドイツは東アジアへの権益拡大の機会を狙って、ロシアと協力して日本に圧力をかけました。